## エアーニッパ取扱い説明書

本体 $\begin{aligned} & \text { MR20，MR3OA，MP25A，MP35A } \\ & \text { CP20，CP30，CP20X，CP30X }\end{aligned}$
21.11

## ■ ご使用前に下記警告を必ずお読みください。

$-\Delta$警 告
各エアーニック゚本体は，非常に強力な切断力（仼縮力）を有しております。大変危険ですので替刃部周辺には手指を絶刘に近づけないで下さい。
2．やむなく替刃に触れる場合には必ずエア一源をストップし，本体バルブをOFFにして下さい。
そして，本体が動作しない事を十分に碓認した後に行って下さい。
3．ご使用になられない時は必ず本体バルブをOFFにし，エア一源をストップして下さい。
4．切断作業にで使用の際には必す安全メガネを着用して下さい。
5．替刃を取り付けている（6）ネジピンに緩みが無しかを常にで確認下さい
6．仕様能力以上の切断，カシメ作業は替刃の破損を引き起こします。大変危険ですので絶対に行わないで下さい。
7．各本体の使用空気圧は閯守してください。

## －使用方法

1．替刃摺動部（A部）に油を1～2滴注油して下さい。 2．エアーホースを接続して下さい。

この時必ず本体バルブをOFFにし，エア一源を


ストップレて下さい。本体バルブのON，OFFは下図を参照して下さい。 3．作業対象物を刃部にあてがい，8 B ノバ一を軽く押さえて下さい。
※作業の状況に応じてレバーの位置は変更が出来ます。
レバーの位置を変更するには（2）本体Bを回転させて下さい。
但し，回転角度は $180^{\circ}$ 以内にして下さい。エアーが漏れる恐れがあります。


ON
OFF

## ■注意事項

1．替刃摺動部（A部）には1日2～3回注油を行って下さい。 2．力ラ打ちは行わないで下さい。替刃刃部の損傷を招きます。 3．使用空気圧は下記に示す指定範囲内でご使用下さい。 | MR2O，MR3OA，MP35A，CP20，CP30，CP30X | $0.5 \sim 0.6 M P a$ |
| :--- | :--- |
| MP25A |  |

4．本体の切断能力範囲外での作業は行わないで下さい。 ※本体の切断能力はカタログに記載されております。
5．エアーは必ず水分を除去し，水分を混合していないエアーをで使用下さい。
6．一部部品はセット販売となります。裏面部品表をで確認下さい。

## ロOリング呼で番号 JIS B2401

各本体にて使用しているOリングは下記表を参照して下さい。

| 本体 | 11 | $11^{\prime}$ | 12 | 13 | 14 | 14 | 21 |
| :--- | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| MR2O．CP20 | P32 |  | P4 | P11 | S38 |  |  |
| MR3OA．CP30 | P42 |  | $P 4$ | P11 | S48 |  |  |
| MPP5A．CP20X | P32 | P32 | P4 | P11 | S38 | S38 | P15 |
| MP35ACP30 | P42 | P42 | P4 | P11 | S48 | S48 | P20 |

## －替刃の交換方法

1．エア一源，本体バルブをOFFにして下さい。
2．（15）ナットをスパナで固定し，（6）ネジピンをドライバーで取り外して下さい。 3．替刃の頭部を掴んで，本体より引き出して下さい。
4．新しい替刃をセットし，（6）ネジピン，（15）ナットをしっかりと締め付けて下さい。
※替刃側面を押し，替刃を閉じた状態（下図参照）にすると挿入が簡単になります。

## 替刃取外し



替刃を閉じた状態


## ロロリングの交㬇方法

※作業を行う時は必ずエア一源，本体バルブを OFFにして下さい。

## （1）Oリング

※このОリングが消耗すると，レバ一を押さえた時にエアーピン周辺よりエア一が漏れ本体が正常に動作出来ない事があります。
1．（9）フックを取り外して下さい。
2．（16ロールピンを抜して，レバーを外して下さい。
3．（4）エアーピンを抜いて下さい。
4．（12）リングを交換して下さい。
5．0リングの交換が完了したら，部品を外した時と逆の手順で組み立てて下さい。

## （1）Oリング

※このOリングが磨耗すると，ピストン部分でエア一漏れが発生し，ピストンが正常に動作しなくなります
1．（2）本体Bを左（反時計方向）に回して取り外して下さい
2．3ピストンを抜き出し，（11）リリングを交換して下さい。
3．本体A内部とOリング部分をグリスアップをして下さい。（下図参照）
グリスアップが完了しましたら，逆の手順で組み上げて下さい。
※本体A，B，Cはネジ式の為，左（反時計方向）へ回すと分解出来ます。

## グリスアップ䓢所



## －レバーの交換及び調整方法

1．エアー源，本体バルブをOFFにして下さい。
2．エアーホースを本体より外して下さい。
3．（19）フックを取り外して下さい。
4．（16ロールピンを抜いて8）しバーを取り外して下さい。
5．新しい8）
この時（16ロールピンは左右均等になるように調整して下さい。
6．（9）フックを取り付けて下さい。
7．（2）調整ネジBをレンチで下部に軽く当たる所までねじ込み，（8）ナットで固定させて下さい。
※（2）調整ネジBを締めすぎるとしバーの安全ストッパーが働かなくなる為，ご注意下さい。
8．エアーホースを取り付け，本体バルブをONにして下さい。
※この時安全に調整をして頂く為，本体より替刃を取り外しておいて下さい。
9．8レバーをONにした状態で（6）調整ネジをレンチでねじ込んで下さい。途中（4）エアーピンよりエアーが漏れてきますが引き続き（26）調整ネジAを ねじ込んで下さい。
（4）エアーピンからのエアー漏れが止まりましたら，その位置で（8）ナットで固定をして下さい。
※（8）ナットを締める時に（26）調整ネジAが回らないようにご注意下さい。


## —刃開き調整方法

本製品には替刃の刃開きを狭くする調整機能が付いています。
※但し，替刃を完全に閉じる事は出来ません。

1．（0）刃開き調整ボルトを右（時計方向）に回すと刃開きを狭くする事が出来ます。 この時，（习）刃開き調整ボルトを締め過ぎますと，（2）リングが破損する恐れが あります。
2．（00）開き調整术ルトを左（反時計方向）に回すと刃開きを広くする事が出来ます但し，本体出荷時の初期状態で刃開きは最大になるようになっております。 その為，それ以上に刃開きを広くする事は出来ません。


部品図
MR20，CP20

（5）（1）（1）（3）（1）（11）（18）（5）（1320）（2）


MR3OA，CP3O


部品図
MP25A，CP20X


MP35A，CP30X





1509001 認証取得工場 \＆
本 社 工 場 $〒 573-1132$ 大阪府枚方市招提田近1－8－1 TEL 072－850－1600 FAX 072－850－2600大阪オフィステ573－1131 大阪府枚方市高野道1－2－3 TEL 072－850－0091（代）FAX 072－850－0082東京オフィス〒143－0016 東京都大田区大森北3－9－5－1 02 TEL 03－6450－0073 FAX 03－6450－0079名古屋オフィス〒466－0044 愛知県名古屋市昭和区桜山町5－99－6 TEL 052－858－1755 FAX 052－858－1756 URL：http：／／www．muromoto．co．jp E－mail：mrt．info－j4＠muromoto．co．jp

